



春日井 瀧

KASUGAI Ko

代表作

『吉祥悔過』(1978 年)

『海石榴』(1978 年)

ほか 結社歌誌に多数短歌を掲載

活動略歴

- 1914 年 中学卒、神宮皇學館で大塚達雄と出会う。
- 1915 年 「潮音」に入会し太田水穂に師事
- 1918 年 神宮皇學館卒業後、名古屋商業学校教諭職。
- 1919 年 「霸王樹」創刊同人となる。
- 1923 年 名古屋短歌会（現・中部短歌会）の名で、浅野保、瀧、三田滯人らによって「短歌」を創刊。
- 1936 年 鳥居政子と結婚。
- 1938 年 長男・建 誕生。
- 1944 年 「短歌」が一時「国の花」に合流、翌年廃刊。
- 1946 年 「短歌」復刊。
- 1955 年 「短歌」編集発行人となる。
- 1978 年 『吉祥悔過』上梓。
- 1979 年 没。

参考／『NHK 短歌新歌人群像』（2004 大塚真彦）

KASUGAI Ko (1896– 1979/ Tanka Poets)

Born in Nagoya City. At the age of 10, he trained at a temple in Kobe and became a monk.

In his second year of junior high school, he returned to secular life and returned to Nagoya.

He founded the Nagoya Tanka Association (now the Chubu Tanka Association), a major tanka organization in Nagoya, and launched the booklet "Tanka".

After the death of an editorial committee member, he became the editor and publisher. His wife, Masako, was also a tanka poet. His son, Kasugai Ken, is also a tanka poet.

ジャンル / 短歌

Tanka (tanka poem)

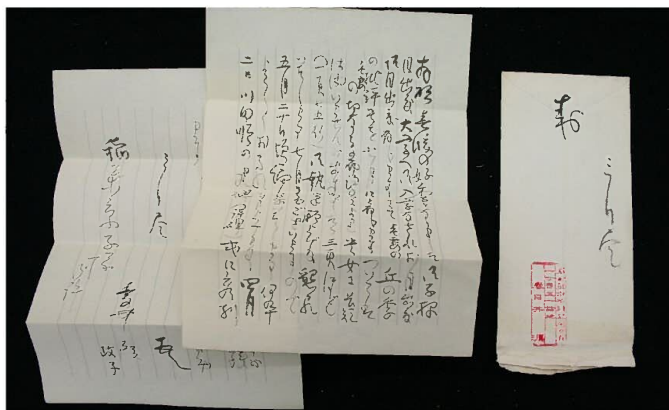
名古屋市収蔵の資料

／春日井 瀧

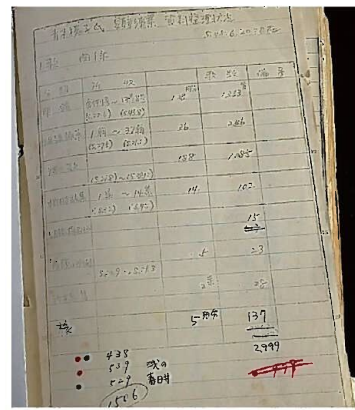
(一部掲載；収蔵先 文化のみち二葉館)

Collection related to KASUGAI Ko in Nagoya City.
Storage location: Cultural Path Futaba Museum,
City of Nagoya.

← 1989年、熱田区高座結御子神社に建てられた歌碑。左大石碑の歌は以下。
「あかつきのかはたれやがて澄みゆかむ
茜となりく山の端の空」
(春日井瀧・歌集『吉祥悔過』掲載)



↑歌人・稲葉京子への直筆書簡。妻であり歌人の政子と連名になっている。



↑青木穠子氏遺稿歌集（S50.1）の編集過程が分かる資料。歌の選定は主に浅野梨郷、春日井瀧で、青木氏が投稿した同人歌誌から両氏が選出した。赤丸印が浅野梨郷氏、青丸印が瀧氏で記されていることが分かる。
(名古屋市短歌会館 収蔵)

上記資料の閲覧を希望される方は、[文化芸術推進課](#)または[文化のみち二葉館](#)までお問い合わせください。
なお、学術研究または教育普及目的の場合にのみ閲覧が可能で、所定の手続きが必要です。